



### 市政運営について

#### 過去4年の市政運営について

**問** 中学1年生、小学生への給食費無料化の拡大のタイミングは。

**答** 財政状況を見ながら、無料化の対象を拡大していくか充分な検討を行っていきます。

#### 今後の市政運営について

**問** 子育て支援拠点を活用した若年層人口の増加に向けた取り組みは。

**答** 暮らしやすい魅力ある住環境の整備や働く場所の確保のほかに、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりが必要です。

**問** 新幹線通勤補助の導入について市長の考えは。

**答** 総合的な移住・定住支援策の中のひとつのメニューとして検討していきます。

**問** 碓氷峠周辺の誘客の現状と課題は。

**答** このエリアには、年間50万人を超える観光客が訪れており、エリア全体の整備について



整備が待たれる熊ノ平変電所

検討していく必要があります。

**問** スポーツクライミング施設・オートキャンプ場の具体的な整備の時期については。

**答** スポーツクライミング施設は、2020年の東京オリンピックまでに整備し、オートキャンプ場の整備時期は今後検討します。

**問** 群馬県はベトナムに力を入れているが、本市のスタンスは。

**答** ベトナムに力を入れている県とも連携して取り組んでいきたいと考えます。

**問** 空家等対策協議会について

**答** 「特定空家等」への認定に関する協議が柱となります。また認定に向けた第三者機関としてのチェック機能の役割も担っていただく予定です。



### 行財政改革・空家対策・ひきこもり対策について

#### ふるさと納税の拡充について

**問** ふるさと納税の寄付額は。

**答** 平成29年度は1381件で6607万9千円の寄付がありました。前年度と比べ約3倍もの増加となりました。

**問** 返礼割合が3割に減ることで寄付額の減少が予想される。対策は。

**答** 安中産の豚肉や牛肉の登録、「磯部煎餅サクサクウオーキング」「砂塩風呂」「梅干し作り」などの体験型返礼品の登録に向け、準備をしています。

**問** 空家等対策協議会の今後の協議内容は。

**答** 「特定空家等」への認定に関する協議が柱となります。また認定に向けた第三者機関としてのチェック機能の役割も担っていただく予定です。

**問** 空家等対策協議会について

**答** 「特定空家等」への認定に関する協議が柱となります。また認定に向けた第三者機関としてのチェック機能の役割も担っていただく予定です。

**問** 相談窓口の設置は。

**答** ひきこもり支援関係者連絡会を立ち上げました。

**問** 取り組んでいる就労支援は。

**答** 福祉課で相談を受け、必要に応じて支援員による就労支援を行っています。

**問** 克服できた事例は。

**答** ひきこもりが10年程続いていた若者が、支援員が相談を受け徐々に就労に興味を持たせたことで、農家の手伝いやアルバイトを数カ月行い、その後就職することができました。



ひきこもり相談窓口がある市民生活課